



# 図書だより 1月号



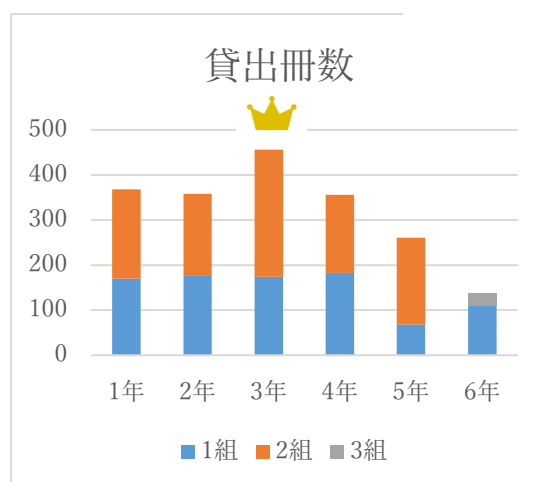
## ～新しい年、本とスタート！～

あけましておめでとうございます。新しい年がはじまりました。みなさんは、どんなお正月を過ごしましたか？寒い日が続いていますが、図書室には心がぽかぽかする本がたくさんあります。今年もたくさん本を読んでくださいね！

「月に〇冊読む」「いろいろなジャンルの本に挑戦する」など、自分なりの読書の目標を決めてみるのもおすすめです。

本を通して、新しい発見やワクワクに出会える1年になりますように☆

## 12月の貸出ランキング



12月の1位は 3年生で456冊でした！また、クラス別では3-2が282冊で1番多く借りていました。図書室カウンター上の100冊達成者の名前が増えていきます！お友だちの名前を見つけたら「すごいね！」と声をかけてあげるのもいいですね！

さて、1月はどの学年、クラスが1位になるのでしょうか？！

## ～2026年は午年！～



午年は、元気・行動力・成長をあらわす年といわれています。

馬は昔から、人といっしょに働いたり旅をしたりする、大切なパートナーでした。そのため午年は、「一歩前に進む年」「努力が実を結びやすい年」ともいわれています。本の世界でも、馬は友情や命の大切さを伝える存在としてえがかれることが多いです。「スーホの白い馬」のように、心に残るお話もたくさんあります。

ぜひ、本を通して、馬のすごさややさしさにふれてみてください。



## ほんしょうかい おすすめの本の紹介



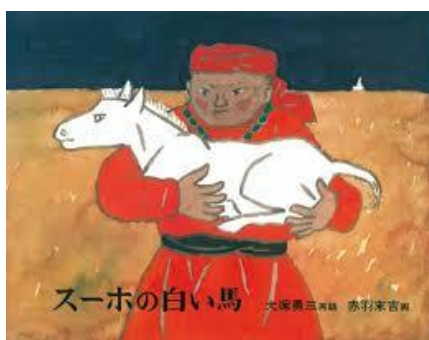
### 『手ぶくろを買いに』

寒い冬の夜、こぎつねがはじめて町へ手ぶくろを買いに行きます。ドキドキしながらも一生懸命がんばるこぎつねの姿に、思わず応援したくなるお話です。  
人を信じる気持ちの大切さが心にあたたく残る一冊です。



### 『14ひきのさむいふゆ』

雪がつもる寒い冬、14ひきのねずみの家族は、みんなで力を合わせて冬のくらしを楽しみます。雪遊びをしたり、あたたかい家の中ですごしたりする様子がえがかれています。  
家族のあたたかさ、冬のしずけさが伝わるお話です。



### 『スーホの白い馬』

草原でくらす少年スーホと、白い馬とのつよいきずなをえがいたお話です。冬の草原を舞台に、喜びや悲しみ、命の大切さが静かに伝わってきます。  
悲しいお話ですが、深く心に残る一冊です。



あたごしょう  
**愛宕小60選** せん



ことし  
～今年もチャレンジしよう！「あたごしょう 愛宕小60選」～

1冊読むごとにスタンプをおしてもらいましょう！

10冊読んだら金シール、30冊で3冊券。40冊でしおり、50冊でオリジナルしおり、60冊全部で賞状がもらえます！

60冊達成めざしてチャレンジしてみてくださいね！